米之宮浅間神社 社報

令和5年
春号
4月1日発行

春を迎えて

桜の季節を迎え、各地では春祭りやお花見が行われているところもあり、コロナ禍以前の活気を取り戻しているように感じます。古くから満開になった桜の木には神様が宿るとされ、桜の木の根元にお供えをし、一年の豊作を祈った名残がお花見であると言われています。豊作を祈ったあとに行われるのが田植えです。田植えは春の終わりから初夏にかけて行われる春の最も大きな行事で、田植えを始める際に各地では神事が執り行われます。伊勢の神宮では、四月初旬にお祭りにお供えするお米の忌種を神田に撒く神事「神田下種祭」、五月初旬に成長した早苗を植える行事「御神田植初」が執り行われています。

田植えと神道のつながりは日本書紀の「斎庭の稲穂の神勅」に見受けられます。天照大御神が高天原の田んぼで育てた稲穂を、孫である瓊瓊杵尊に授け、地上に稲作を伝える神勅です。

桜、田植えといった身近なものにも古くから神道が関わっていることを感じながら、今も続いている風習に触れてみてはいかがでしょうか。

初宮参りについて

初宮参りとは、赤ちゃんが初めて氏神様に参詣することです。時期は、男子は生後三十一日目、女子は三十二日目にお参りするのが一般的ですが、地方によっては時期が異なり一様ではありません。初宮参りの意味としては、氏子の一員として認めてもらうこと、氏神様の御神徳を得て無事に成育できることを祈願するという意味がそれぞれあります。

氏神神社について

氏神神社とは、居住する地域をお守り下さる神様をお祀りする神社の事を言います。お祀りされている神様は神社によってさまざまで、氏神様は子供の誕生から成長、地域の平安、日々の生活などを見守りくださる存在として、崇敬されています。また、氏神神社周辺の地域に居住する人を氏子と言います。

神社の豆知識

地鎮祭について

地鎮祭とは、建物の新築や土木工事を始める際にその土地の神様をお祭りし、工事の無事、土地や建物が長く安全堅固であることを祈願するお祭りです。

地鎮祭では、国土をお守りする「大地主神（ぬしのかみ）」をはじめ、「産土神（うぶすなのかみ）」や「その土地を領有する神々」をお祭りします。特徴的な行事として、四方祓（しほうはらい）、刈初（かりそめ）・穿初（うがちそめ）の儀、鎮物（しずめもの）埋納の儀があります。四方祓では、土地の四方を大麻（おおぬさ）や切麻（きりぬさ）で祓います。刈初・穿初の儀では、草を刈り、地を穿つ所作を行い、神様に工事の開始を奉告します。鎮物埋納の儀では神霊を鎮めるために鎮物の品を捧げて工事の無事安全を祈念します。日本人の生活習慣における伝統や信仰に基づいたお祭りと言えます。

神社からのお願い

神社では感染予防に対し様々な取り組みを行なっています。是非清々しい気持ちで神社にお参りして戴く為に、皆様におかれましても感染症対策に十分に気を付けて戴くようお願い申し上げます。

神社や神道について詳しくはこちらのQRからご覧ください。

神社では、家内安全・身体健全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・旅行安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病気平癒・心願成就・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受付けています。いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。

ご祈願についてのお問合せは神社まで

連絡先　米之宮浅間神社　社務所
〒四一六-〇九〇六 静岡県富士市本市場五八二
☎〇五四五(六一)〇八一七
FAX〇五四五(六一)〇八二九